



企業理念

地域とともに
お客さまのために
「親切」の心で

目次

ごあいさつ	1	損益の状況	56
トップメッセージ	2	経営諸比率	59
地域への取組み	8	営業の状況	61
平成20年度の概況	14	資本の状況・株主の状況	72
経営・内部管理体制等	24	連結決算	74
当行の概要	32	自己資本の充実の状況等について	
店舗等一覧	35	定性的な開示事項 連結	86
トピックス	38	定量的な開示事項 連結	90
業務内容・商品案内	40	定性的な開示事項 単体	98
財務諸表等	50	定量的な開示事項 単体	101

本誌は銀行法第21条に基づいて作成したディスクロージャー資料です。

(注) 1.本資料に掲載してある係数は、原則として単位未満を切り捨ての上、表示しています。 2.構成比率は、100に調整しています。



ちば興銀は、次世代記念マーク
を取得しています。



ごあいさつ

皆さまには、平素より千葉興業銀行をお引き立て賜り、誠にありがとうございます。

このたび、頭取に就任いたしました青柳でございます。当行は、今年度からの2年間に取組む中期経営ビジョン《Change&Challenge21》を策定しスタートしました。この中期経営ビジョンの成功に向けて、若さとバイタリティーを生かし、リーダーシップを発揮してまいります。また、盤石な営業基盤・強固な収益体質の確立を最優先課題と考え、当行グループの総力を結集して業務に邁進する所存ですので、今後とも、より一層のご支援を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

昨年度は、サブプライムローン問題を背景とする米国の景気後退が9月のリーマン・ショック以降、金融危機の形で顕在化しました。その後、金融危機の影響が世界規模で拡大したことにより、国内においても、急激な株安・円高等、金融市場は大きく変動しました。

このような経済環境のなか、中心業務である預金・貸出金につきましては順調に推移しております。中小企業のお客さま・個人事業主のお客さまに対する事業資金供給と個人のお客さまのローンニーズに積極的に対応したほか、お客さまの様々なニーズにお応えするなど、地域金融機関としての役割を果たしてまいりました。

今後の経済動向につきましても注視が必要な状況ではありますが、これまで以上に、千葉県の地域金融機関として地域の皆さまのお役に立てるよう、全行員・スタッフが一丸となって、お客さまへのサービス向上に努めてまいります。

本年も、ちば興銀について深くご理解いただけますよう「2009 千葉興業銀行レポート」を作成いたしました。当行の経営方針、最近の業績、営業の内容などについて、できるだけわかりやすくご紹介することに努めました。

ご参考にしていただければ幸いです。

平成21年7月

取締役頭取・CEO 青柳 俊一